

あじさい見学

素敵なあじさいの咲く情景に会いたくて、今月岩槻公園に出かけました。ご入居者様も、あじさい見学をとても楽しみにされておりました。

公園内は、深い緑に包まれ、あじさいや菖蒲の花が色鮮やかに咲いていました。公園内を散策していると、小鳥のさえずりが聞こえてきます。また、池を眺めると、鯉や

カメラが梅雨の暗れ間を楽しみながら泳いでいます。緑の中で、きれいな空気が出てきた。「可愛いらしいあじさいを見られて嬉しいわ」と、皆様それぞれに自然や季節を感じ、心身共にリフレッシュされたご様子でした。



◆タオルを両手で引っ張りながら頭の上に乗せた状態で歩きます。
①前後に倒す
②左右に倒す
③体をねじる
◆タオルを広げた状態で歩きます。
④指先を使いタオルを丸める
⑤指先でギャザーをよせる

『朝の体操』の紹介

6月に入り農園では野菜達が次々と花を咲かせ、そして実をつけています。各フロアーごとに分かれた畑では、それぞれの野菜が伸び伸びと大きく育っています。特定2階では朝の水やりを終え、早急キュウリとナスとシソでお漬物を作りました。食事の時に皆様でいただく「色が鮮やかで新鮮だわ」「味がよく滲み出て美味しい」と大好評でした。

ぽかぽか農園

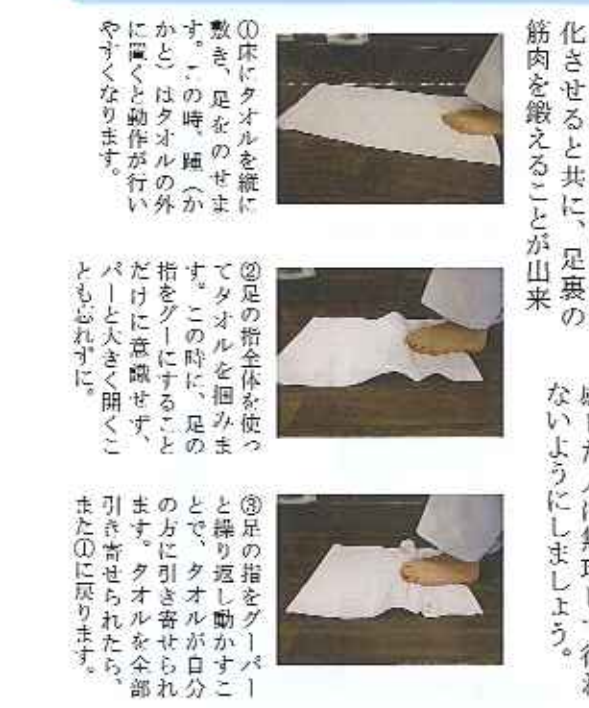


お子様達による慰問「大きなカブ」



6月15日に1歳から4歳の可愛いちびっ子達による演劇「大きなカブ」が行われました。まずは歌や体操などを披露してくださり、とても可愛い姿にご入居者様やスタッフ一同、心が和みました。歌の後は、ご入居者様一人一人と握手。ご入居者様は「可愛いね。」「素敵なお歌をありがとう。」「楽しそうに話しかけてもらっちゃいました。この後はメインイベントの「大きなカブ」。小さいながらも立派な演技に、皆様、大きな拍手を送られました。「おじいちゃん、おばあちゃん、いつまでも元気でね」と元気パワーをいっぱい頂きました。またお子様方からあじさいの作品のプレゼントを頂き、大切な宝物となりました。

可愛なあじさいの作品



デイサービス通信

あすなろ会 慰問

六月二十七日、あすなろ会の皆様が慰問されました。民舞、フラダンス等、芸芸のすばらしさに、ご利用者様はとても感動されておりました。「自分がステージで舞ったつもりで観られたよ。」「なかなか、普段は見られないね。」「なるなるの皆様が慰問されました。民舞、フラダンス等、芸芸のすばらしさに、ご利用者様はとても感動されておりました。「自分がステージで舞ったつもりで観られたよ。」「なかなか、普段は見られないね。」「なるなるの皆様が慰問されました。民舞、フラダンス等、芸芸のすばらしさに、ご利用者様はとても感動されておりました。」



◆カラオケを両手で引っ張りながら頭の上に乗せた状態で歩きます。
①前後に倒す
②左右に倒す
③体をねじる
◆タオルを広げた状態で歩きます。
④指先を使いタオルを丸める
⑤指先でギャザーをよせる

母の日・父の日の由来

母の日の始まりは、1908年アメリカはウェストバージニア州に住むひとりの女性教師が、母親の自分への深い愛情をたたえる催しを開いたのがきっかけでした。その後この話が反響を呼び、このことに共感したシアトル市民は1914年のウィルソン大統領をも動かして議会で正式制定より国民の祝日となりました。それでは何故母の日はカーネーションなのでしょうか？「亡くなったお母さんといつでも一緒に居たい」と何処へいくにもお母さんの代わりとして胸にカーネーションを着けていたのが「母の日のカーネーション」ということが次第に定着したみたいです。日本へは大正時代に伝わり、キリスト教会の働きかけなどにより定着しました。

あすなろ会 活動

昭和42年3月設立。関東一円の施設等を千数百ヶ所「お年寄りの笑顔と拍手が私達の励み」をモットーに活動されています。

座員数 27名
慰問数 月平均5回 (年間60回)

交流内容
新舞踊・演劇・舞踊・講談
ワインダンス・江戸芸かっぽれ
etc....
第56回東京都社会福祉大会にて「東京都知事賞」受賞ほか多数受賞されています。

花の絵手紙

「皆様の言葉に、心がやさしくなれました。」「素敵なお花に出会えて嬉しい。」など、絵から、いろいろな思いをもらい絵と出会うことでうれしそうに昔を思い出しています。山野草を見ながら感動を知る。土の匂い、風の香り、自然からのメッセージを描いてみた。素直な感受性を大切に身近な花に心をそわせて描くと、いつかきくと絵も心も輝いてきます。「今は季節感がないからね、何でも食べるし、見れるし、楽しみがないねえ。一体どうなんだべ〜。」などと話しながら、皆様と一緒に筆を走らせています。

父の日の始まり

父の日の始まりは、1910年に男女同権の立場から、母の日に対して父にも感謝する日があるべきであると考え、アメリカのリンントン州に住んでいる、ジョン・ブルース・ドット夫人という方が始めました。小さい頃に母親を亡くし、男手一つで育ててくれた父に感謝しようという催しを開いたのです。その催しが行われた日が、今日の父の日の始まりとされています。父の日はなかなか祝日にならなかったのですが、62年後の1972年によりややくアメリカで祝日に決定されました。

レクリエーションメニュー紹介

脳のトレーニングとして、時代背景をなつかしく語らいながら想い出リハビリにもなっています。『ほ』で蛍の話題になり
♪ホウホウ蛍こい。こっちの水は甘いぞ。
あっちの水は苦いぞ♪
参加者の方々が一齐に歌いだしました。この歌は、次の世への誘いということを知り、「知らなかった方が幸せだね。」ということになりました。「あんた何ぼまで生きる気だい。」「そうさなあ。あの世でおやじが待っているのもいやだしなあ。」と大笑い。「笑いが一番だわさ。」
無心に夢中になることが脳の活性につながるといえるでしょう。人と動物が歌詞にも、物語にも出てきます。カルタとりから、懐かしい昔話で盛り上がりました。

いろいろカルタ

